

JANUARY

# 酒田だより



「新しき年 ことほぎて  
歌う歌声空高く  
あまつみ国にとどけかし」

(カトリック聖歌集より)

## お知らせ



1月のミサ  
5日 第2日曜  
12日 第3日曜  
26日 第5日曜

☆1/5 (日)  
ディンド管区長によるミサ  
ミサ後 昼食会  
クリスマスの飾り片付けます

祈りの意向  
教皇の意向  
教育を受ける権利  
日本の教会の意向  
聖年

## 1月スケジュール

- 1日 (水) 神の母聖マリア  
正月 集会祭儀
- 5日 (日) 主の公現  
ミサ ディンド管区長  
昼食会  
クリスマス飾りかたづけ
- 12日 (日) 主の洗礼  
ミサ  
話合い
- 19日 (日) 年間第2主日  
集会祭儀  
教会内清掃
- 26日 (日) 年間第3主日  
ミサ

ミサ・みことばの祭儀 11:30a.m.

1朗読当番					
1日(水)	祭壇奉仕	荻原徹	19日	祭壇奉仕	荻原徹
神の母聖 マリア	第1朗読	今野幸子		第1朗読	折坂志津枝
	第2朗読	佐藤浩子		第2朗読	齋藤純子
5日	先唱	柿崎圭介	26日	先唱	荻原徹
主の公現	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	柿崎圭介
	第2朗読	佐藤浩子		第2朗読	ヤグナ
12日	先唱	柿崎圭介			
主の洗礼	第1朗読	今野幸子			
	第2朗読	ヤグナ			





## 2025 年新年の挨拶

アントニオ 柿崎 圭介

新年明けましておめでとうございます！

昨年 12 月 8 日のバチカンの枢機卿会議において菊地功大司教様が枢機卿に親任されました。

日本人としては、2018 年に選ばれた前田万葉枢機卿に次いで、7 人目になるそうです。菊地枢機卿様おめでとうございます！

菊地枢機卿様は、岩手県宮古市出身で 1958 年 11 月 1 日生まれの 66 歳。  
(実は私と同じ年)

カトリック新潟司教(2004 年 - 2017 年)を務めて頂き私たち酒田教会にとっても、とても馴染みのある方です。

また、カリタスアジア総裁(2011 年 - 2019 年)も務め、人種、民族、性差、宗教や政治の壁を越えて、国連諸機関や国内外の関連団体と連携し、平和な世界の構築に貢献する国際的な活動もされています。

菊地枢機卿様は、10 月 6 日のフェイスブックで、その知らせを知った時の事を下記のように書いていました。

『後ほど「司教の日記」にも記しますが、皆様のお祝いの言葉に感謝いたします。驚きました。恐れにとられました。自分の足りなさに慄然としています。

今日は午前中に神言会の本部で日本人会のミサがあり、出かけておりました。

昼過ぎにミサを終えて戻ってきて、サンピエトロのそばでタクシーを降りると、昼のアンジェルスへの祈りに参加していた人たちが、大勢戻ってきていました。

その中に、いつも司教の肖像写真にサインを求めてくる青年がおり、彼が近づいてきて、「菊地大司教、おめでとう。枢機卿ですよ」と言ってくるのです。何を冗談をと思いました。近くの宿舎に着くと、ロビーにボゴタのルエダ枢機卿さんがいて、すかさずアンジェルスのバチカン放送の録音を聞かせられました。確かにわたしの名前が呼ばれていました。

正直、驚きました。

金曜日に教皇様と写真を撮って話したばかりで、何も言ってませんでしたし。

驚くと同時に、その責任の重さに慄然としています。

枢機卿の任命は日本の教会にとっての名誉であり、東京教区にとっての名誉であり、アジアの教会、国際カリタス、それぞれにとって大きな名誉です。

しかしそれ以上に、今回二人の神言会会員が枢機卿に任命されたことで、神言会にとっても大きな名誉となりました。

戦後すぐに北京の大司教であったトマス田(ティエン)枢機卿様が、これまで神言会で唯一の枢機卿でした。

今回任命された方の中には、存じ上げている方がいます。

同じ神言会のネメット大司教(セルビア)、いっしょに FABC で働くパブロ・ダビド司教(フィリピン)、国際カリタスの関係で何度も仕事を共にする総合的人間開発省の次官ファビオ・バッジョ師、そしてこのシボスの霊的指導者であるティモシー・ラドクリフ師。

どうかこの重責を十分に果たすことができるように、また教皇様の信頼に応えることができるように、皆様のお祈りをお願いいたします』

と本人も大変驚いた様子を綴っていました。

枢機卿の事を少し説明しておきます。  
 枢機卿(cardinalis)は、教皇の最高顧問です。  
 重要な案件について教皇を直接に補佐する枢機卿団を構成すると同時に、  
 個々の枢機卿は、教会全体にかかわる日常的な職務について教皇を助けます。  
 また教皇選挙権(コンクラーベ)は枢機卿だけがもちます。  
 枢機卿は、原則として司教の叙階を受けた人の中から教皇が自由に任命し、  
 任期は設けられていません。  
 菊地枢機卿様は、あのコンクラーベの投票権があるのです。  
 私には、もう想像も出来ません。

ローマ教皇に次ぐ高位聖職者の枢機卿に就任 菊地 功さん(66)

今年7日、ローマ・カトリック教会で教皇に次ぐ高位聖職者の枢機卿に就任した。日本人としては7人目。2023年からカトリック系慈善団体の非政府組織(NGO)「国際カリタス」の総裁も務めるなど、弱者支援活動にも力を注ぐ。「枢機卿の立場で平和へのメッセージを発信していきたい」と意気込む。

岩手県宮古市生まれ。両親は教会関係の仕事をしていて、同じ敷地内の宿舎で育った。「スイス人神父が人のために尽くす姿を間近で見ていた。おのずと聖職者になる道

この人

を選び、中学校から大学院まで愛知県のカトリック系の学校で学んだ。活動の原点は宣教師に

なつて訪れたアフリカ・ガーナだ。「電気もない村で8年間暮らし、助け合いの大切さを学んだ」

その後、1994年に起きたアフリカのルワンダ大虐殺の難民キャンプ支援に携わった。難民に必要な物を尋ねた時「われわれのことを忘れない

でほしい」との返答が心に響いた。2011年3月に故郷の岩手県などを襲った東日本大震災の際には支援の中核も担った。

現在は東京大司教を務める。今年10月、ローマ訪問中に枢機卿への任命を知った。「事前連絡もなく驚いた。18年前に田万華大司教が枢機卿になっており、日本で同時に2人が枢機卿を務めるのは異例だ。

教皇フランシスコは核兵器廃絶を訴えており、唯一の被爆国として「日本の教会への期待も込められている」と分析する。エレクトリックピアノでジャズを演奏するのがリラックス方法。

12月19日山形新聞より



12月1日、成井司教様が、酒田教会を公式訪問されました。  
御ミサ後、皆さんと一緒に食事を共にし、司教様の一週間遅れの誕生日（11月24日）のお祝いを致しました。  
食事会の後、「宣教司牧方針」について説明しました。  
私たちは、この方針について、計5回の「分かち合い」を行い、酒田教会なりの方針をまとめました。  
この方針を作成する事をきっかけに、以前からの懸案事項であったホームページ作成を今年11月に立ち上げ、また、敷地内の掲示板も12月に整備いたしました。  
ハード、ソフト色々な面から、宣教につながって行ければと思っています。  
公式訪問の様子は、司教様のブログで紹介されていますので、是非見て下さい。

